



博物館通信

冬号



2025年1月発行 Vol.94

2025年の天文ニュース!!

毎年さまざまな天文現象があり、夜空を楽しむことができます。去年は日本でオーロラや彗星が見え、天文の話題も多かったですね。今年はどんな夜空を楽しめるのでしょうか。



へびの星座探し

夜空には動物を描いている星座がいくつもあり、今年の干支の「巳」も見つけることができます。

88星座の中で“へび”とつく名前の星座は、春の星座の「うみへび座」、夏の星座の「へび座」と「へびつかい座」。そして、日本からは見ることはできませんが、南天の星座「みずへび座」の4つです。どれも明るい星が少なく目立つ星座ではありませんが、うみへび座は全天一大きな星座です。

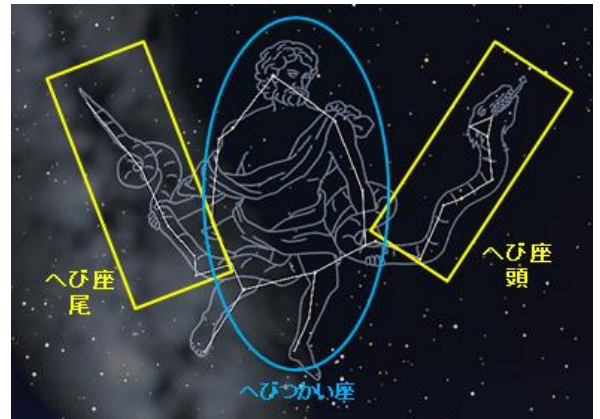
また、へび座は真ん中にへびつかい座が位置し、頭部と尾部の2つに分かれている珍しい星座です。

他にもヘルクレス座やペルセウス座の星座絵にはへびが描かれています。



冬の大三角

冬は浅口“市の星”でもあるおおいぬ座のシリウスが見ごろだよ！



へび座とへびつかい座 (ステラナビゲータで作成)



季節ごとに“へび”に関連する星座探しも面白いよ！

9/8

皆既月食

9月8日に全国で皆既月食を見ることができます！浅口市では、部分食が夜中の1時26分ごろから始まり、皆既食の最大が3時11分ごろとなっています。皆既月食は3年ぶりです。



天王星

2022年11月に起きた皆既月食・天王星食

今回、天王星食は起きないけど、こんな風に赤黒い色に月が見えるよ



秋ごろ～

土星の環が消える!?

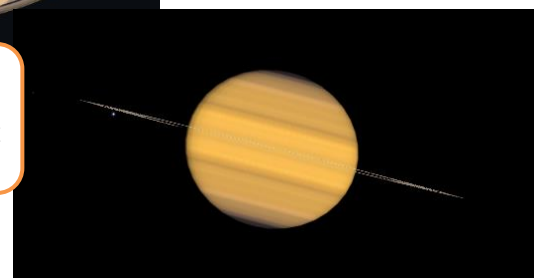
土星の環の見え方は、地球と土星の位置関係により年々変化し、約15年ごとに環を真横から見るようになるため、環が消えてしまったかのように見えます。

10月頃から夜空で見ることができるので、環に注目です！



←2016年7月の土星

↓2025年11月の土星



ほんとに環が消えたみたいだ!? 大きな環なのに厚みは薄いだね



環の見え方の違い (ステラナビゲータで作成)



188 cm望遠鏡ドームの工事



博物館のお隣にある国立天文台 188 cm反射望遠鏡は、1960年に建設され、今でもたくさんの観測を行っていますが、2022年9月にドームの扉が故障し、しばらく観測を停止していました。

しかし、2024年3月にドームを修理することが決まり、9月から工事を開始。約3か月かけて新しい扉になりました！



©国立天文台



新しい扉になって

これまで扉の開閉時間に約11分かかっていたのが、約2分に！時間が短縮されたことで観測開始がスピーディーになります。そのため、急な天体現象が起きたときにも早い対応ができるようになります。



これからもたくさんの観測がされていくんだね。どんなことが分かっているか楽しみだね♪



イベント情報

※詳しくは当館HPをご覧ください

2/15
(土)

岡山天文台講座 「激変する空飛ぶ円盤 - 激変星」

明るさが変わる天体“変光星”。その中でも劇的に明るさを変える「激変星」について詳しくご紹介します。
激変星が持つ「降着円盤」にまつわる変光現象と、それを監視する国際観測ネットワークや「せいめい望遠鏡」を使った最新の研究まで紹介します！



講師

磯貝 桂介さん

(京大物理学研究科附属天文台
岡山天文台特定助教)



プラネタリウム冬番組

「ノーマン・ザ・スノーマン ～北の国のオーロラ～」



©TAIYO KIKAKU Co. Ltd./TECARAT

ある冬の夜、雪に憧れる「少年」は雪ダルマの「ノーマン」と北の国へ旅に出た。

ノーマンが少年に教えてくれたことを確かめるために。

—フクロウは雪明りの中、音もなく羽ばたくって—

—オーロラは空一杯にゆらめく、空のカーテンだって—

全編にわたって1コマずつ丁寧に撮影された人形アニメーションで描く、珠玉のファンタジー作品です。



岡山天文学博物館

〒719-0232

岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5

TEL/FAX 0865-44-2465

<http://ww1.city.asakuchi.okayama.jp/museum>

